

函館工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	コミュニケーション英語 I	
科目基礎情報							
科目番号	0013		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3			
開設学科	社会基盤工学科		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2			
教科書/教材	English World / Writing Method Basic / LEAD 基礎英語(Web版) ※辞書はセイコークラウド辞書 Gigantes を使用						
担当教員	臼田 悦之						
到達目標							
1. 英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解でき実際に発音できる。 2. 4技能を駆使して、様々な情報や考えなどを的確に理解したり、相手に伝えることができる。 3. 語彙や言語運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	語彙や言語運用の知識 を身につけ実際に運用 でき、背景にある文化を理解できる。		語彙や言語運用の知識 を身につけ、ある程度 運用でき、背景にある文化を理解できる。		語彙や言語運用の知識 を身につけられない。 背景にある文化も理解できない。		
評価項目2	様々な情報や考えなど を的確に理解でき、相 手に概要をわかりやすく伝え、意見交換がで きる。		様々な情報や考えなど を的確に理解でき、相 手に概要をおおまかに伝え、簡単な意見交換 ができる。		情報や考えなどを的確 に理解できない。また 相手に概要を伝えられない。簡単な意見交換 もできない。		
評価項目3	英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解でき、正しく発音できる。		英語の子音・母音、音変化、プロソディー、発音記号を理解でき、意識すればほぼ正しく発音できる。		英語の子音・母音、音 変化、プロソディー、発音記号を理解できない。また、意識しても 正しく発音できない。		
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付け、身近なこと、自然現象、社会の出来事などの話題について英語で理解したり伝えたりする初歩的な英語運用能力を養う。また、基本的な英語発音・プロソディー・発音記号に関して理解でき、実際に発音できるようにする。タスク・ベースの活動を通じて4技能(Reading, Listening, Speaking, Writing)をバランスよく統合的に向上させたり、語いや定型表現知識を広げることを目指す。						
授業の進め方・方法	・自分の考えや意見を、間違いを恐れず積極的に英語で表現しようとする姿勢を持つこと ・4技能(reading, listening, speaking, writing) を統合的に鍛え、積極的にコミュニケーションをとること ・カタカナ英語にならないよう、英語らしい発音を心がけること※特に子音と音変化をしっかりと意識すること ※この講義内容は全てコアカリキュラムの内容に基づいている						
注意点	・英語は積み上げ科目なので、単語学習、予習復習、課題、e-Learningなど毎日勉強 すること ・授業以外でも、クラウド辞書(Gigantes)を使って語彙力をつけるようにすること（発音、意味、品詞、派生語を意識したり、例文をよく読むこと） ・eラーニングでスピーキングの問題ができるように自分のPCにマイクがついていることを確認すること ・コミュニケーション英語 I は学修単位（3単位）なので、後期の8週目で終了する						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・Self-introduction 1 ・英語らしい発音 ・LMSの使い方		・学習の到達目標、学習内容、および留意点を理解できる ・LMSの使い方が理解できる 【発音】 英語には音変化があることがわかる		
		2週	・英語発音の基礎：音変化 ・Self-introduction 2		【発音】 音変化の仕組みがわかり、発音できる ・スライドを使って自己紹介を30秒程度英語でできる		
		3週	・Lesson 1 School life ・Task 1		【発音】 無声音と有声音の[th]を正確に発音できる ・Life について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・Information-gap taskを遂行できる		
		4週	・Lesson 2 Food ・Task 2		【発音】 子音[f]の音を正確に発音できる ・Food について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・Information-gap taskを遂行できる		
		5週	・Lesson 3 Seasons ・Task 3		【発音】 子音[v]の音を正確に発音できる ・Seasons について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・Information-gap taskを遂行できる		
		6週	・Lesson 4 Experience ・Task 4		【発音】 子音[r]の音を正確に発音できる ・Experience について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・Opinion-gap taskを遂行できる		
		7週	・Lesson 5 Careers ・Task 5		【発音】 子音[l]の音を正確に発音できる ・Careers について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・Information-gap taskとOpinion-gap taskを遂行できる		
		8週	中間試験		学修した内容を60%以上理解できる		

後期	2ndQ	9週	・ 答案返却 ・ Lesson 6 Language ・ Task 6	・ 解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる ・ Language について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・ Opinion-gap taskを遂行できる
		10週	・ Lesson 7 Life ・ Task 7	【発音】 [子音+r]の音を正確に発音できる ・ Life について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・ 道案内タスクを遂行できる
		11週	・ Lesson 8 Price or quality ・ Task 8	【発音】 子音[p]の音を正確に発音できる ・ Price or quality について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・ Information-gap taskを遂行できる
		12週	・ Lesson 9 Media ・ Task 9	【発音】 子音[r],[l]の音が連続しても正確に発音できる (応用) ・ Media について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる ・ Information-gap taskを遂行できる
		13週	・ Presentation ()	【発音】 子音[w]の音を正確に発音できる ・ 自分が選んだ国について英語でプレゼンテーションできる
		14週	・ Lesson 10 City or the country ・ Task 10	【発音】 子音[n],[ng]の音を正確に発音できる ・ City or the country について自分の考えを整理し、ペアやグループで表現し合うことができる
		15週	・ 前期期末試験	学習した内容を60%以上理解できる
		16週	答案返却・ 解答解説	・ 解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる
	3rdQ	1週	・ Presentation (Country) について ・ Task 11	・ Presentation (Country) についての概要と準備の仕方がわかる ・ Decision-making taskを遂行できる
		2週	・ Presentation (Country) の準備 ・ Task 12	・ Presentation (Country) についての準備ができ、リハーサルができる ・ 未来表現を理解し使うことができる ・ Decision-making taskを遂行できる
		3週	・ Presentation (Country) ・ Task 13	・ Presentation (Country) について、スライドを使いながらプレゼンテーションできる ・ 過去についての表現を理解し使うことができる ・ Decision-making taskを遂行できる
		4週	・ Classroom Survey について	・ Classroom Survey について概要がわかり準備ができる
		5週	・ Presentation (Classroom Survey)	・ Classroom Surveyのプレゼンができる
		6週	・ Discussion について	・ Discussion について概要がわかり準備ができる
		7週	・ Discussion	・ ペアやグループで簡単なDiscussionができる
		8週	最終試験	学修した内容を60%以上理解できる
	4thQ	9週	答案返却・ 解答解説 振り返り	・ 解説を通じて、自分の間違った箇所を理解できる ・ 学習した内容を振り返り、今後の学習計画を立てられる
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト・課題 など	合計
総合評価割合	60	20	0	0	0	20	100
基礎的能力	60	20	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0